

平成 29 年度 東海シンポジウム (案)

主題＝機能性ナノ構造体の構築とその利用～新規産業創出を目指して～

<趣旨>

階層的なナノ構造体は生体で見られるように、情報の受容・変換・伝達等の高度な機能を発現しています。これらのナノ構造体を人工的に模倣した、合目的な規則構造を有する生体模倣材料は、次世代の機能性材料として、新規産業創出の観点からも注目されています。機能性ナノ材料について、そのナノ構造体を“つくる”・“みる”・“つかう”の観点から、この分野をリードされている方々をお招きして、最先端の話題を提供していただき、新産業創出につながるナノ材料に関して議論する場として本シンポジウムを企画いたしました。多数の方々のご参加をお願いいたします。

主催 高分子学会東海支部

協賛 日本化学会東海支部 東海化学工業会 有機合成化学協会東海支部 繊維学会東海支部
日本接着学会中部支部 日本分析学会中部支部 色材協会中部支部 化学工学会東海支部
プラスチック成形加工学会 日本レオロジー学会 日本繊維機械学会東海支部
日本油化学会東海支部 日本顕微鏡学会関西支部 応用物理学会東海支部

日時 2018年1月11日(木)、1月12日(金)

会場 名古屋国際会議場 222・223号室(名古屋市熱田区熱田西町1-1 ☎052-683-7711)

交通 名古屋駅から①地下鉄東山線栄駅または桜通線久屋大通駅で名城線乗り換え、日比野駅または西高蔵駅下車、徒歩5分。②JRまたは名鉄で金山駅下車、地下鉄名城線に乗り換え、日比野駅または西高蔵駅下車、徒歩5分。

第1日＝1月11日(木)

<10:00～12:10>

はじめに (名工大) 樋口真弘

A. ナノ構造を“つくる”

- 1) π 共役系化合物の機能発現を目指す
ならべる、つなげる、あやつる合成化学 (名工大) 高木幸治
- 2) ウイルス由来ペプチドの自己集合による人工ウイルスキャプシドの創製 (鳥取大) 松浦和則

<13:40～16:40>

B. ナノ構造を“つかう”

- 3) ナノ粒子を利用した電極界面の構造制御・構造解析・機能設計 (名工大) 池田勝桂
- 4) グラフェン NEMS: 単分子センシングから熱フォノン制御応用まで (北陸先端大) 水田 博
- 5) バイオインスパイアードナノ材料の設計と医療応用 (京都大) 秋吉一成

第2日=1月12日(金)

<9:30~12:30>

C. ナノ構造を“みる”

- 6) 量子ビームをプローブとする散乱法を活用した
複合高分子の構造物性評価 (三重大) 鳥飼直也
- 7) 自己組織化ソフトマテリアルの電子顕微鏡を用いた構造解析 (東北大) 陣内浩司
- 8) AFMを用いた高分子鎖構造の直接観察 (山形大) 熊木治郎

<13:45~16:45>

D. ナノ構造を“つかう”

- 9) 分子の自己組織化を利用する光エネルギー変換 (九州大) 君塚信夫
- 10) 粘土鉱物ナノ構造体を用いた、ポリオレフィンの合成 (日本ポリケム) 田谷野孝夫
- 11) 蛾の眼を模倣した反射防止フィルムとその多機能性 (三菱ケミカル) 魚津吉弘

参加要領

- 1) 定員 100名
- 2) 参加費(含予稿集代) ①企業 10,000円 ②大学・官公庁 5,000円 ③学生 無料
- 3) 申込方法 高分子学会東海支部が所属している化学関連学協会合同事務局のホームページ (<http://www.c-goudou.org/>) の「平成29年度東海シンポジウム」の案内からお申し込みください。参加費は銀行振込【三井住友銀行名古屋支店 普通預金口座 5557774 高分子学会東海支部】お支払いください。
- 4) 申込締切 1月5日(金)
- 5) 振込期限 1月5日(金)(本期間内での振込が困難な場合、当日現金でお支払ください)

お問い合わせ先

〒460-0011 名古屋市中区大須一丁目35番18号 一光大須ビル (公財) 中部科学技術センター内 高分子学会東海支部 東海シンポジウム係宛

☎ 052-231-3549 FAX 052-204-1469 E-mail msugiyama@c-goudou.org